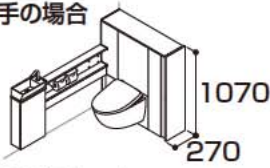
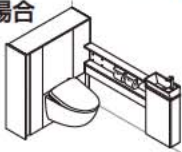
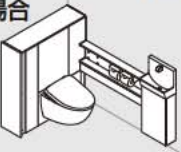
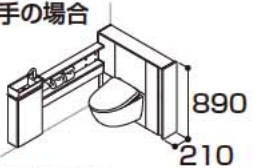


手順編

※商品タイプの確認▶P.2

まるごと収納タイプ		スリム収納タイプ	
ベッセルタイプ(丸形/角形)	ハイバックタイプ	ベッセルタイプ(丸形/角形)	ハイバックタイプ
左勝手の場合  右勝手の場合 	左勝手の場合  右勝手の場合 	左勝手の場合  右勝手の場合 	左勝手の場合  右勝手の場合 

1. エンドパネル (オプション)	▶ 30
2. 側板組品 (手洗器設置側)	▶ 32
3. 排水部材	▶ 34
4. 大便器スタンド	▶ 36
5. 止水栓	▶ 38
6. 排水ソケット	▶ 46
7. コアキャビネット	▶ 52
8. やわらかフロアライト	▶ 58
9. 大便器	▶ 60
10. ウォシュレット	▶ 63
11. タンク接続管	▶ 65
12. セットタンク	▶ 67
13. 前板 (上)	▶ 72
14. 棚板	▶ 74
15. 扉	▶ 76
16. 固定扉	▶ 78
17. 手洗器キャビネット・カウンター・幕板	▶ 80
18. 手洗器・水栓金具	▶ 95
19. 給排水部材 (手洗器)	▶ 103
20. 試運転・確認	▶ 110
21. 天板	▶ 119
22. 仕上げ	▶ 123

マーク説明 (例)



寒冷地仕様の場合を示します。



下穴をあけてください。
(例:φ3の場合)



電動ドライバー使用禁止です。
手締めしてください。



シールテープを巻いてください。



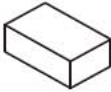
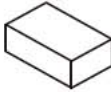
脱脂用アルコールで脱脂してください。



塩ビ用接着剤を塗布してください。
(例:塗布の場合)

18. 手洗器・水栓金具

使用部材

 詰め合わせ箱	 その他包装
施工説明書	手洗器
 ※ベッセルタイプ(丸形/角形)の場合は使用しません。 型紙	 (1台) 取付材セット(排水ソケット)  取付材 (1個) ※図はベッセルタイプ(角形)  座金組込なべ小ねじ 4×12(4本) 排水ソケットセット  排水ソケット (1個)  バックシム(排水口) (1個)

詰め合わせ箱 (手洗器キャビネット用)

付属材セット (手洗器)

【ベッセルタイプ(丸形/角形)】

付属材セット(手洗器)

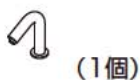
付属材セット	
 クリップナット (2個)  ばね座金 M6(2個)	 寸切ボルト M6×65 (2本)  ローレットナットM6 (2個)  平座金 M6(4個)
 クッション材 (1個)	

【ハイバックタイプ】

付属材セット(手洗器)

付属材セット	
 クリップナット (2個)  ばね座金 M6(2個)	 寸切ボルト M6×40 (2本)  ローレットナットM6 (2個)  平座金 M6(4個)
 クッション材 (1個)	 取付材 (2個)

自動水栓



(1個)

※図はベッセルタイプ(角形)

ハンドル式水栓



(1個)

※図はベッセルタイプ(角形)

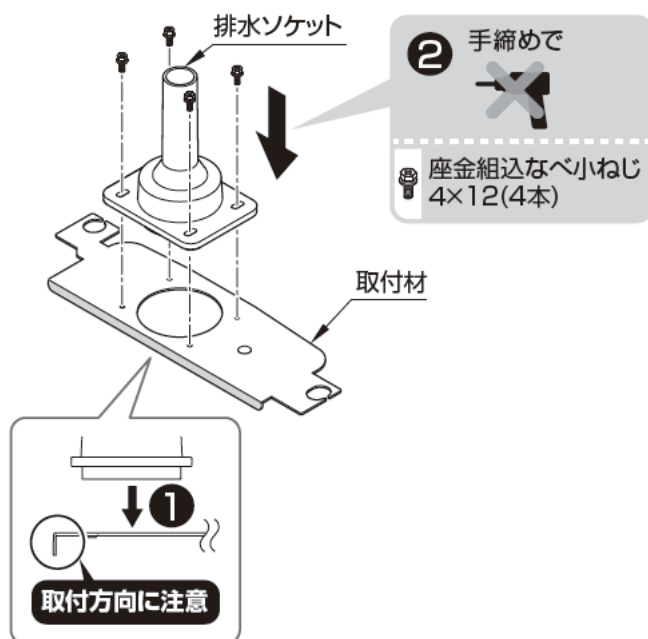
1 排水ソケットの組み付け

⚠ 注意



必ず守る

取付後、排水ソケットと取付材の間にすき間がないことを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。



2 クッション材のはり付け

- 1 はり付け面の汚れ・ホコリなど十分にふき取る
- 2 クッション材のセパレータをはがしながら、下記の位置にクッション材をはり付ける

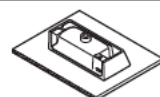
⚠ 警告



必ず守る

クッション材のはり付けは確実に
水などが浸入してコンセントにかかり、火災
や感電の原因となります。

- ・手洗器上面を下側にする際は、ダンボールなどを敷く
手洗器に傷が付かないようにしてください。
- ・手洗器の内側コーナー部に
あわせてはり付ける
設置後にクッション材がはみ出す
ことがあります。



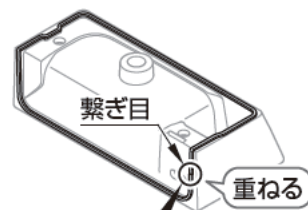
内側コーナー
部にあわせる

ベッセルタイプ (丸形)



繋ぎ目は裏側(すき間をあけないこと)

ベッセルタイプ (角形)



繋ぎ目は裏側(すき間をあけないこと)

ハイバックタイプ

- 6 手洗器の取り付けで実施 (▶ P.101)

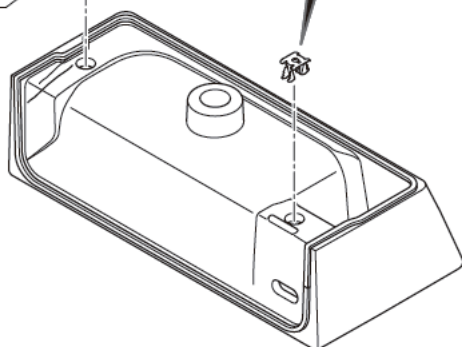
3 手洗器の組み立て

- ① 平らな面に手洗器とのすき間がなくなるまで、しっかり押し込む



施工不良防止

クリップナット



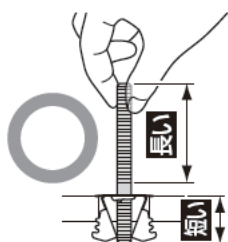
- ② 手締めで 【ベッセルタイプ(丸形/角形)の場合】



寸切ボルト
M6×65(2本)

【ハイバックタイプの場合】

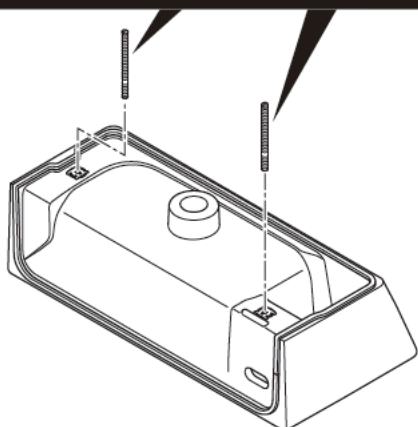
寸切ボルト
M6×40(2本)



軽く手でつまんで、入るまで締める

- ・寸切ボルトをドライバーで深く締めない
- ・斜めに入ったねじを無理に真っすぐにしない

施工不良防止



4 パッキン(排水口)の取り付け

⚠ 注意



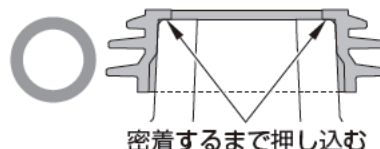
禁止

パッキン(排水口)にグリスを使用しない
劣化し水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

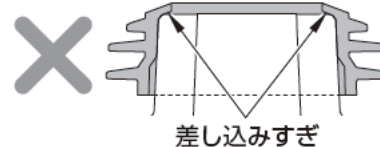


必ず守る

パッキン(排水口)は手洗器排水口に
密着するまで押し込む
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



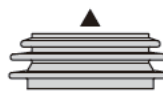
密着するまで押し込む



差し込みすぎ

- ① 手洗器排水口外周の
汚れを取り除き、
取り付ける

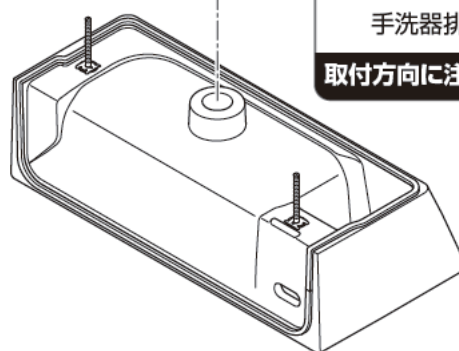
排水ソケット側



手洗器排水口装着側

取付方向に注意

パッキン(排水口)



ベッセルタイプ(丸形)の場合	▶P.98
ベッセルタイプ(角形)の場合	▶P.99
ハイバックタイプの場合	▶P.101

ベッセルタイプ(丸形)

5 手洗器の取り付け

① バックパネル(オプション)の取り付けは、手洗器固定前に行う

参照 バックパネルの施工説明書

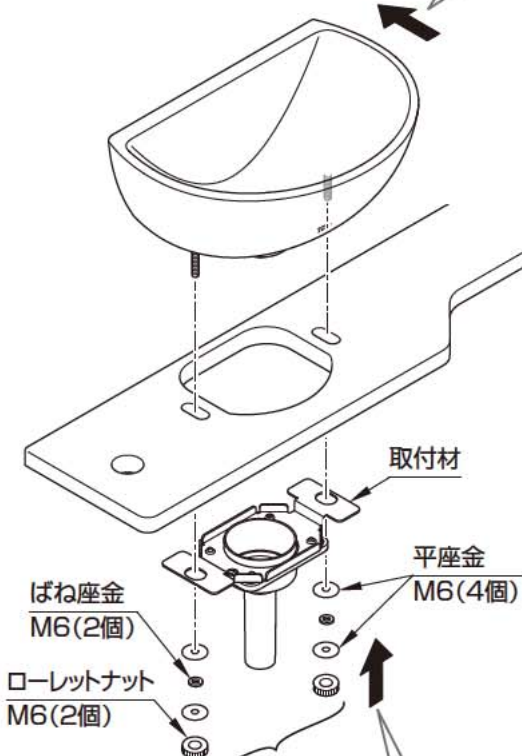
注意



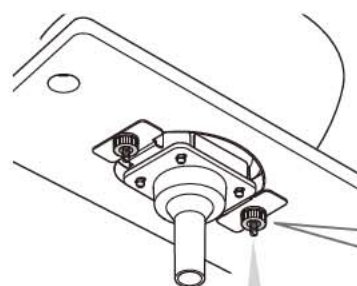
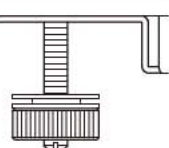
必ず守る

パッキン(排水口)がセットされていることを確認する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

② 壁に押し当てながら取り付ける



③ 寸切ボルトの先端が見えるまでローレットナットを入れる



⑤ ローレットナットを
しっかり締め付ける
手洗器にがたつきがない
ことを確認

④ 手締めで しっかり寸切ボルトを締め込む
※締め時、手洗器との摩擦音が
なることがあります。

できるだけ真っすぐ入るよう、手を沿えて締め込む
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けが
できれば問題ありません。

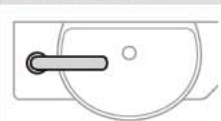
6 水栓金具の取り付け

自動水栓の場合

参照 自動水栓の施工説明書



吐水口の向き



ハンドル式水栓の場合

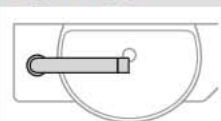
② 動かないことを確認

水栓本体

パッキン

忘れないこと

吐水口の向き



ナット締付工具を使用すると作業が
しやすくなります



菊座金

ナット

パッキン

忘れないこと

フレキホース

① 部材を組み立てる

P.103 19.給排水部材(手洗器)へ

ベッセルタイプ (角形)

5 手洗器の取り付け

① バックパネル(オプション)の取り付けは、手洗器固定後に行う

参照 バックパネルの施工説明書

注意

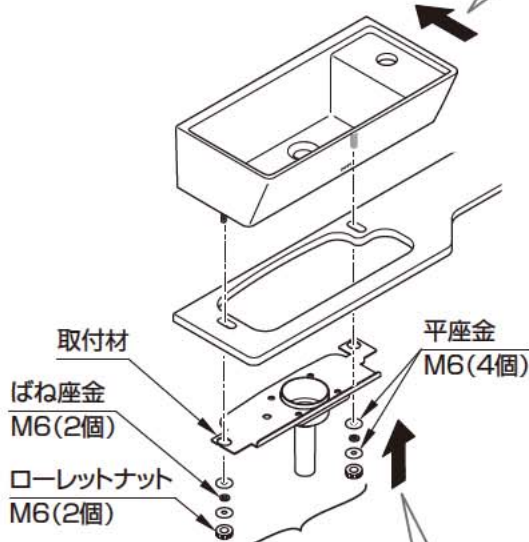


水栓部分を持たない
給水金具が破損して水漏れし、財産損害発生
の原因となります。

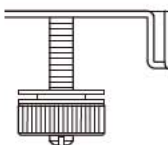


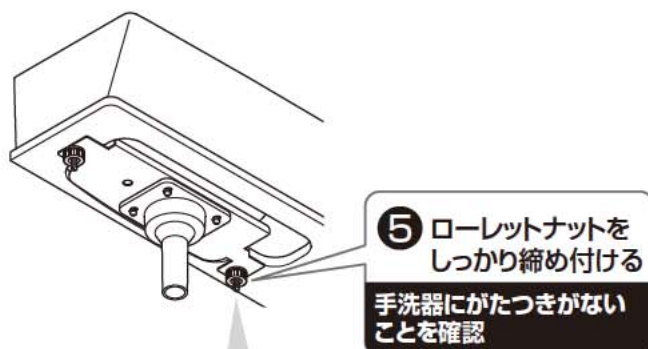
パッキン(排水口)がセットされていることを確認する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害
発生の原因となります。

② 壁に押し当てながら
取り付ける



③ 寸切ボルトの先端が見えるまで
ローレットナットを入れる





④ 手締めで しっかり寸切ボルトを締め込む
 ※締め時、手洗器との摩擦音が なることがあります。

できるだけ真っすぐ入るよう、手を沿えて締め込む
 ※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けが できれば問題ありません。

6 水栓金具の取り付け

自動水栓の場合

参照 自動水栓の施工説明書

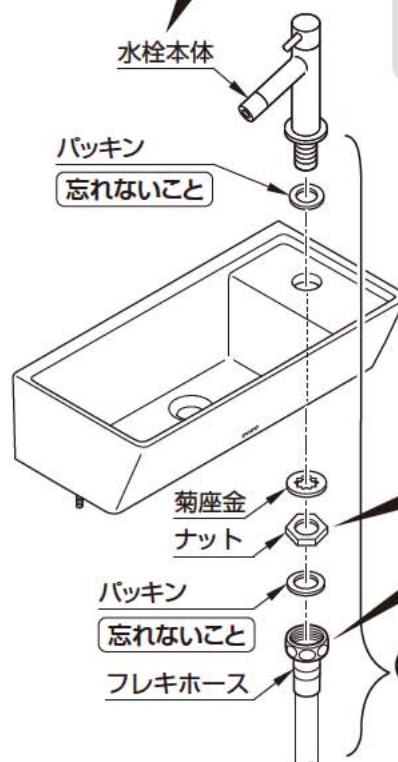


吐水口の向き



ハンドル式水栓の場合

② 動かないことを確認



吐水口の向き



① 部材を組み立てる

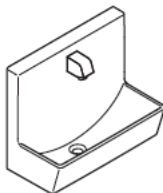
P.103 19. 給排水部材 (手洗器) へ

ハイバックタイプ

5 水栓金具の取り付け

自動水栓の場合

あらかじめ手洗器にセットされています。



ハンドル式水栓の場合

参照 ハンドル式水栓の施工説明書

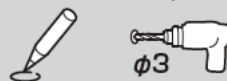


6 手洗器の取り付け

⚠ 注意

禁止	水栓部分を持たない 給水金具が破損して水漏れし、財産損害発生 の原因となります。
必ず守る	パッキン(排水口)がセットされていることを確認する 水漏れして建物や設備などをめらす財産損害 発生の原因となります。

② けがき → 下穴※



※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー
(オプション)



取付穴位置

型紙

③ 型紙を外す

④ トラスタッピンねじ 4×50(4本)

「付属材セット(手洗器)」同梱
※ボードアンカー取付部は手締め

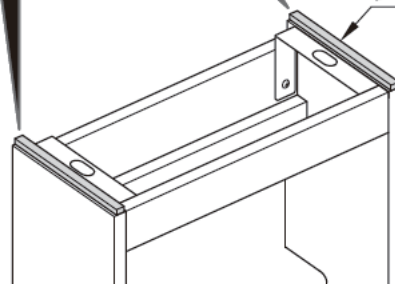
取付材

① ここにあわせる

⑤ 側板の奥行きにあわせてカットし、 側板上部にはり付ける

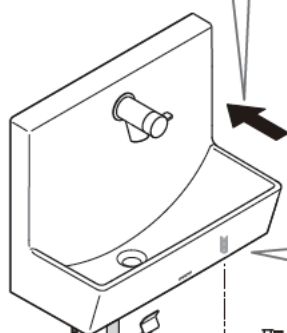
側板からクッション材がはみ出さないようにする

クッション材



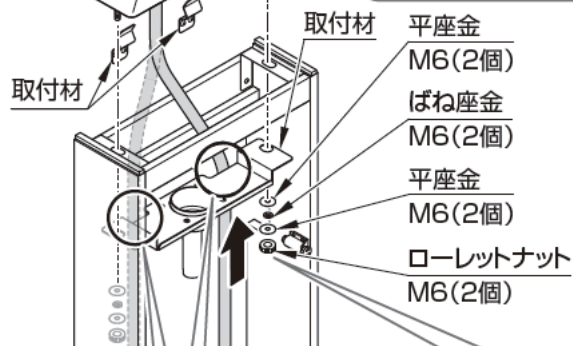
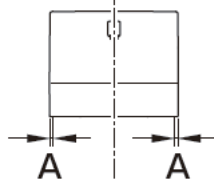
MEMO

⑥ 壁に押し当てる



⑦ 手洗器を取付材に差し込む

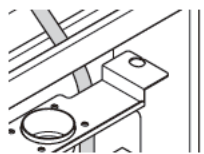
⑧ 左右の位置を調整し 段差「A」が均等になるようにする



⑨ 取付材にフレキホースを通す

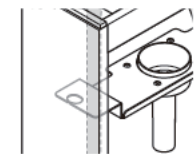
【左勝手】

右側の切り欠きに通す
(図の実線)



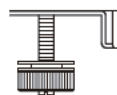
【右勝手】

左側の切り欠きに通す
(図の破線)



⑩

寸切ボルトの
先端が見える
までローレット
ナットを入れる



⑫ ローレットナットを しっかり締め付ける

手洗器にがたつきがない
ことを確認

⑪ 手締めで



しっかり寸切ボルトを締め込む

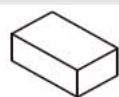
※締め時、手洗器との摩擦音が
なることがあります。

できるだけ真っすぐ入るよう、手を沿えて締め込む

※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けが
できれば問題ありません。

19. 給排水部材 (手洗器)

使用部材



詰め合わせ箱

付属材セット (キャビネット)

ホースクランプセット



ホースクランプ
(1個)

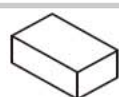


トラスタッピンねじ
4×30(1本)

排水管固定材セット



皿タッピンねじ
4×16(1本)



詰め合わせ箱 (手洗器キャビネット用)

自動水栓コントローラー部



コントローラー
(1個)



自動水栓機能部
(1個)



ファスナーガイド
(1個)



つば付ナット
(1個)



取付金具
(1個)



座付タッピンねじ
4.5×38(2本)



ホースクランプ
(1個)

コントローラー固定材セット

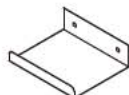


コントローラー
固定材(1個)



トラス
タッピンねじ
4×30(3本)

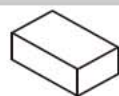
コンセントプレートカバー ※電気温水器付の場合



コンセントプレートカバー
(1個)



トラスタッピンねじ
4×30(2本)



その他包装

カウンター

電気温水器 ※電気温水器付の場合

排水ソケットセット



袋ナット
(1個)



バックリン(排水口)
(1個)

ドラムトラップ組品



ドラム
トラップ
(1個)



クイックファスナー
(1個)

排水管組品



(1本)

付属材セット



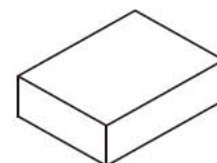
トラス
タッピンねじ
4×12(2本)



結束バンド
(2個)



ホースクランプ(大)
(2個)



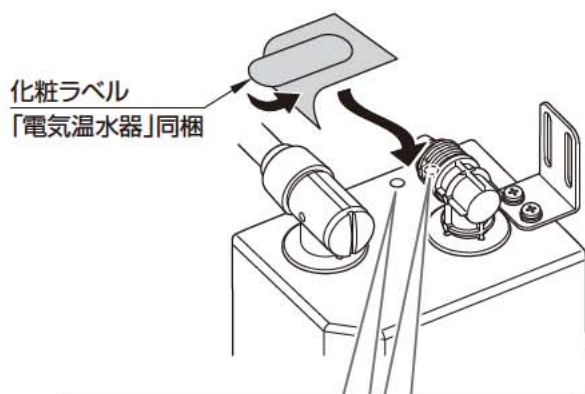
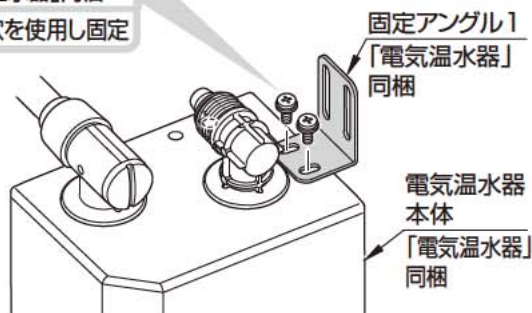
(1箱)

1 電気温水器の取り付け 電気温水器なしの場合は 2 へ

1 手締めで

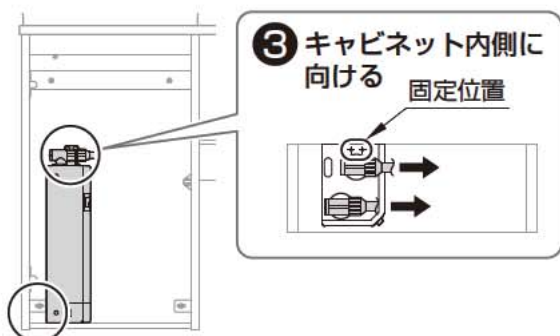


座金組込なべ小ねじ
 M4×10(2本)
 「電気温水器」同梱
 短辺側の穴を使用し固定

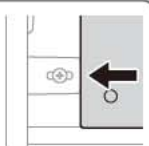


2 長辺側の穴に化粧ラベルをはりふさぐ

【左勝手】

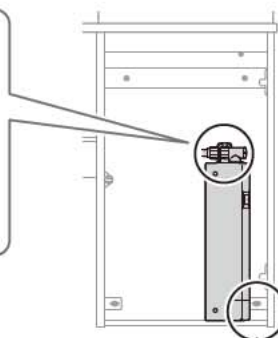
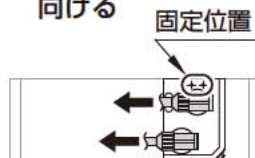


4 手洗器キャビネット内のアングルに電気温水器を突き当てる

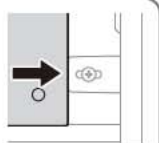


【右勝手】

3 キャビネット内側に向ける



4 手洗器キャビネット内のアングルに電気温水器を突き当てる



5 壁に固定する※

なべタッピンねじ
 4×30(2本)
 「電気温水器」同梱

※【壁裏補強なしの場合】
 下穴 → ボードアンカー (オプション)



ボードアンカー取付部は手締め

! 警告

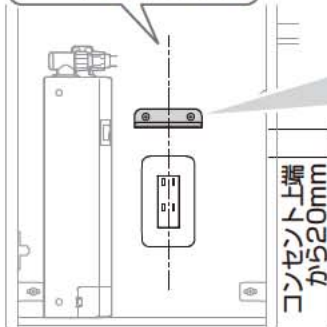
電源コード・アース線は、キャビネットと電気温水器との間や、扉に挟まない
 コードが傷つき、火災や感電の原因となります。



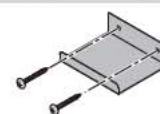
電源コードはコンセントプレートカバーの上を通さない
 結露がコードを伝わりコンセントにかかり、火災や感電のおそれがあります。



6 コンセントと中心をあわせる



7 トラスタッピンねじ 4×30(2本)



※【壁裏補強なしの場合】
 下穴 → ボードアンカー (オプション)



ボードアンカー取付部は手締め

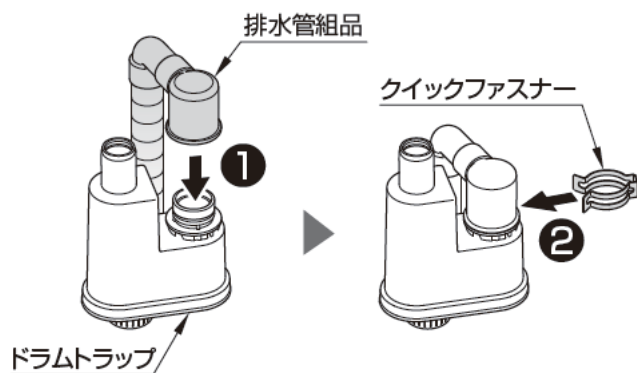
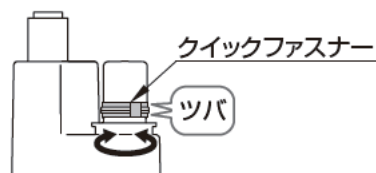
2 ドラムトラップの取り付け

⚠ 注意



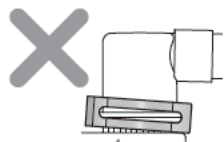
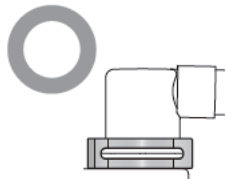
必ず守る

- ・クイックファスナーが正しく固定されていることを確認する
- ・全周にツバがかかっていることを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生
の原因となります。

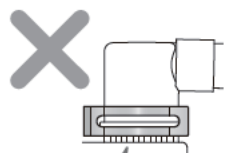


クイックファスナーの取り付けかた

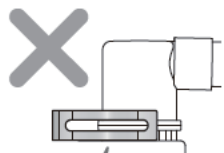
- ③ クイックファスナーが正しくセットされているか確認する



クイックファスナーが斜めにセットされている



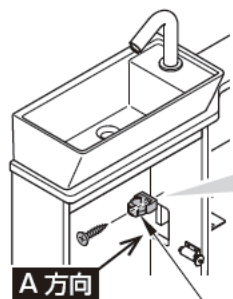
クイックファスナーが片側だけにセットされている



クイックファスナーが途中でセットされている

- ④ 排水管組品を強く引っ張って抜けないことを確認する

クイックファスナーを正しくセットする
排水管組品が抜けて水漏れのおそれがあります。

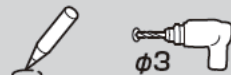


A方向

取付材

「付属材セット(キャビネット)
排水管固定材セット」同梱

- ⑤ けがき → 下穴

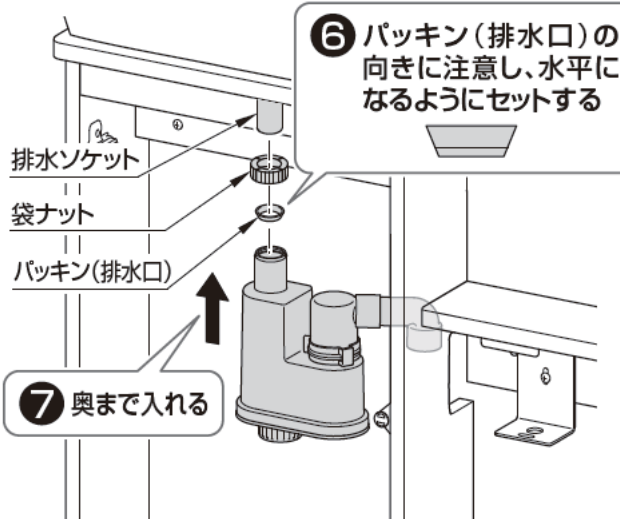
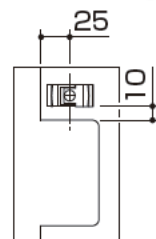


手締めで



皿タッピンねじ
4×16(1本)

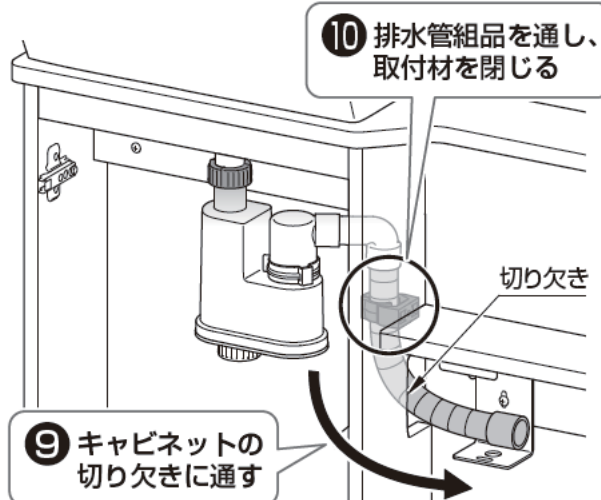
【A方向から見た図】



- ⑥ パッキン(排水口)の向きに注意し、水平になるようにセットする

- ⑦ 奥まで入れる

- ⑧ 各部の袋ナットを手で確実に締める
※手で軽く抵抗があるところまで回し、さらに90度以上締め付けるのが目安です。

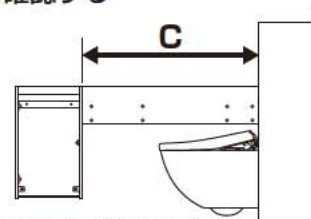


- ⑩ 排水管組品を通し、取付材を閉じる

- ⑨ キャビネットの切り欠きに通す

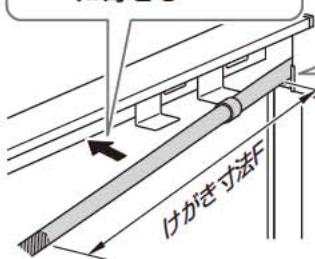
3 手洗器用排水ホースの取り付け

① C寸法を確認する

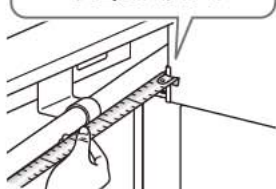


② 奥行寸法C - 規定寸法 180 = けがき寸法F

④ 上段カウンター側に寄せる



③ 大便器キャビネットに当て、けがく



! 注意



必ず守る

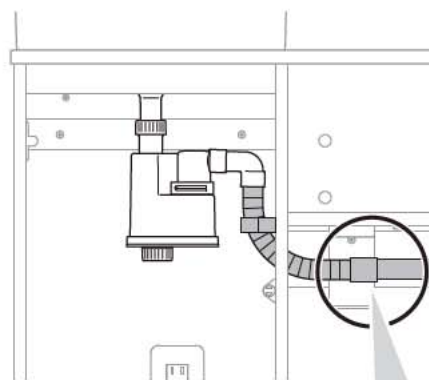
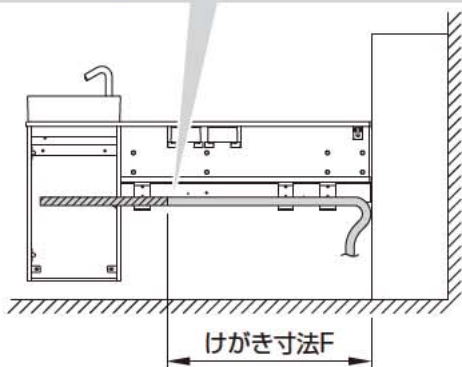
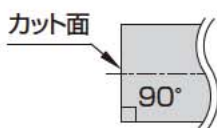
手洗器用排水ホースカット時、押切タイプのパイプカッターは使用しない
 手洗器用排水ホースの断面が変形し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



⑤ カット



手洗器用排水ホースは垂直にカットする



⑥ 両面塗布

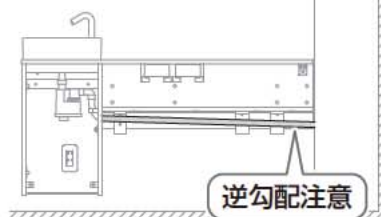


排水管組品

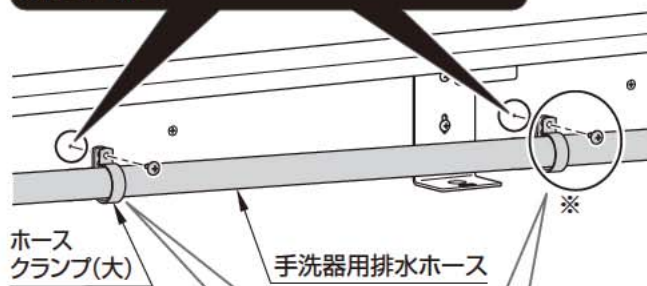
手洗器用排水ホース

⑦

⑧ 逆勾配にならないように、必ず下段横さんの下穴に固定する



異音発生防止



⑨ 固定する

手締めで

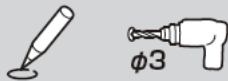


トラストッピンねじ
 4×12(2本)

※C寸法が705mm~の場合のみ取り付け

4 コントローラー・機能部の取り付け

1 けがき → 下穴※

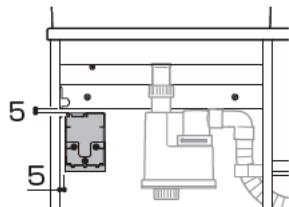


※【壁裏補強なしの場合】

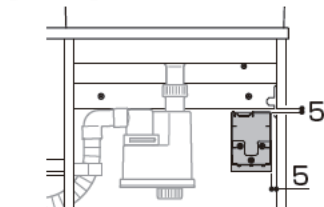
下穴 → ボードアンカー (オプション)



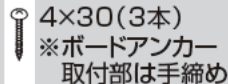
【左勝手】



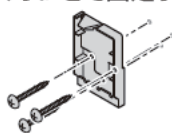
【右勝手】



2 トラスタッピンねじ 4×30(3本) ※ボードアンカー 取付部は手締め



下穴あわせで固定する



3 けがき → 下穴※

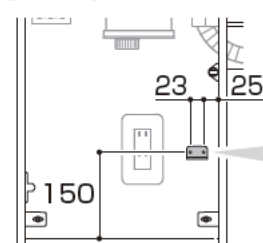


※【壁裏補強なしの場合】

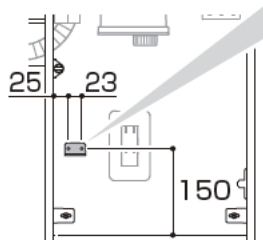
下穴 → ボードアンカー (オプション)



【左勝手】



【右勝手】



4 座付タッピンねじ 4.5×38(2本) ※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

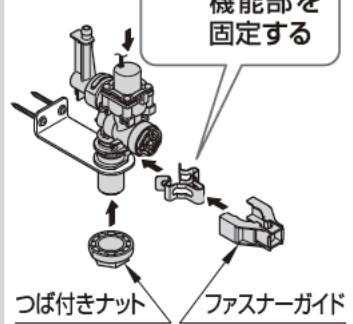
※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

※ボードアンカー取付部は手締め

5 自動水栓機能部を固定する



つば付きナット

ファスナーガイド

コントローラー

コネクター (自動水栓機能部)

コネクター (水栓)

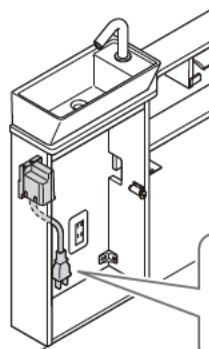
6 水栓・自動水栓機能部からのコネクターを接続

接続はハウジングを持って差し込む

カチッ

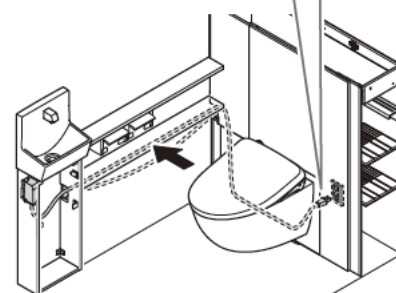
7 下部をひっかけながら固定する

電気温水器ありの場合



8 自動水栓のプラグをキャビネット内のコンセント付近に配置

電気温水器なしの場合



8 自動水栓のプラグを大便器周辺のコンセント付近に配置

5 ホースの取り付け

⚠ 注意



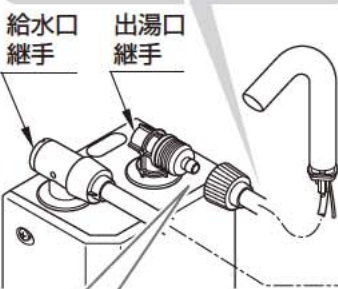
必ず守る

- ・スパウト連結ホースは、切断面が垂直になるようにカットする
- ・スパウト連結ホース接続後、確実に固定されていることを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
- ・スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認する
- ・スパウト連結ホースが折れ曲がらないよう注意する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

90°

自動水栓（電気温水器あり）の場合

①-① カット
適切な長さ
にカットする



①-③
差し込む

①-②
袋ナットを通す



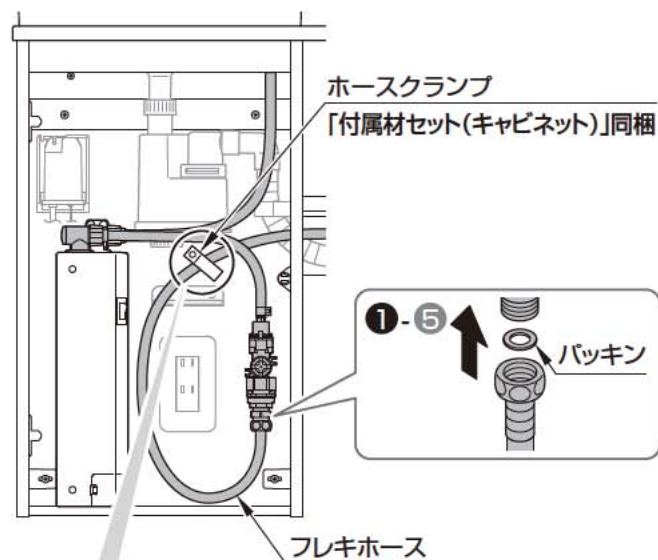
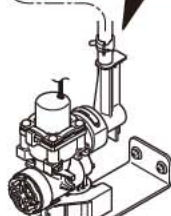
①-④
給水
ホース
ホース
クランプ



- ・ホースクランプは下図の位置にくるようにする
- ・必ずホースクランプでスパウト連結ホース、給水ホースを固定する



ホースクランプが
自動水栓機能部の
上面に付くこと



①-⑥

けがき → 下穴※

※【壁裏補強なしの場合】



けがき → 下穴 → ボードアンカー (オプション)



ボードアンカー取付部は手締め

①-⑦

トラスタッピンねじ
4×30(1本)

P.109 ②へ

自動水栓(電気温水器なし)

1-1 カット 適切な長さにカットする

ホースクランプ
「付属材セット(キャビネット)」
同梱

給水ホース
ホースクランプ

・ホースクランプは下図の位置にくるようにする
・必ずホースクランプで給水ホースを固定する

ホースクランプ
ホースクランプが自動水栓機能部の上面に付くこと

1-2

バックシン

1-3

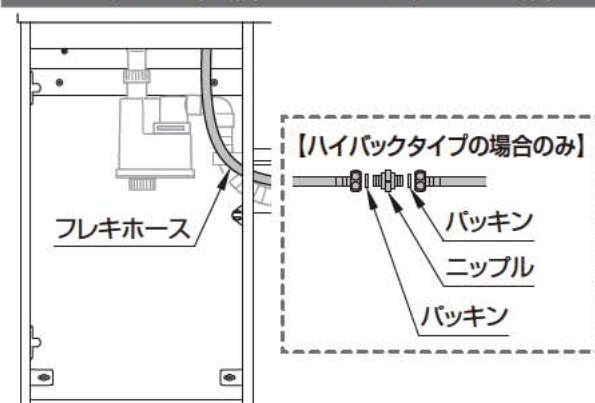
1-4
けがき → 下穴※ ※【壁裏補強なしの場合】
けがき → 下穴 → ボードアンカー(オプション)
φ3 φ10
ボードアンカー取付部は手締め

1-5 トラストタピンねじ 4×30(1本)

同ページ②へ

ハンドル式水栓

ベッセルタイプ(丸形)/ハイバックタイプの場合



ベッセルタイプ(角形)の場合

【左勝手】



【右勝手】



1-1

けがき → 下穴※

※【壁裏補強なしの場合】

けがき → 下穴 → ボードアンカー(オプション)

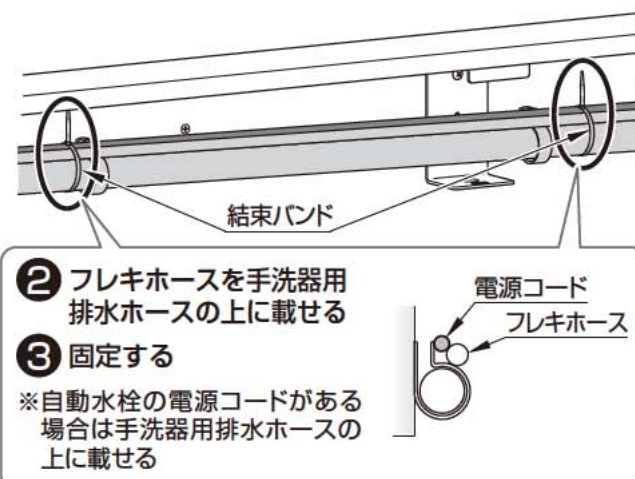


ボードアンカー取付部は手締め

1-2

トラストタピンねじ 4×30(1本)

自動水栓/ハンドル式水栓 共通



20. 試運転・確認

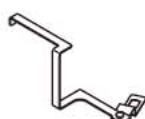
使用部材



コアキャビネット

セットタンク

【流動方式の場合】



流動レバー
(1個)

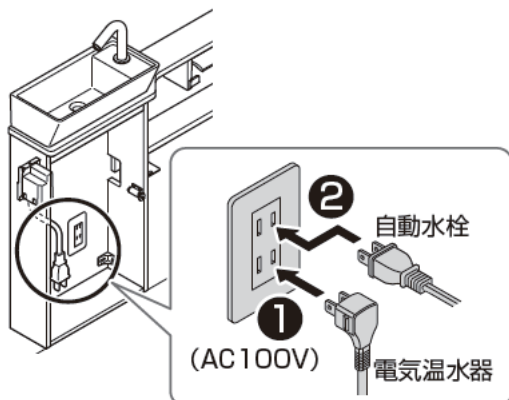


レバー止め
(1個)

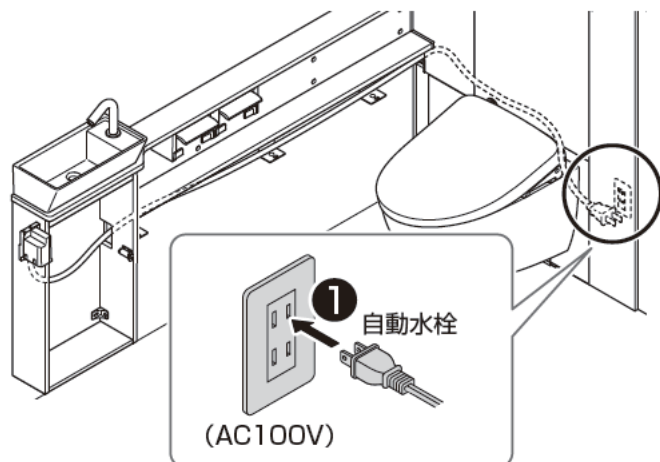
MEMO

1 電源プラグの接続 自動水栓以外の場合は2へ

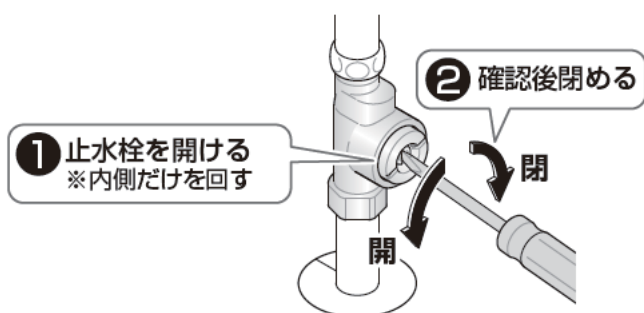
電気温水器ありの場合



電気温水器なしの場合



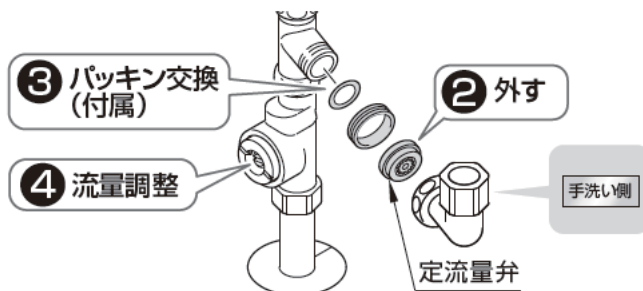
2 試運転の前準備



3 水栓の吐水量確認

1 水栓の吐水確認をする

【吐水量が少ない場合】

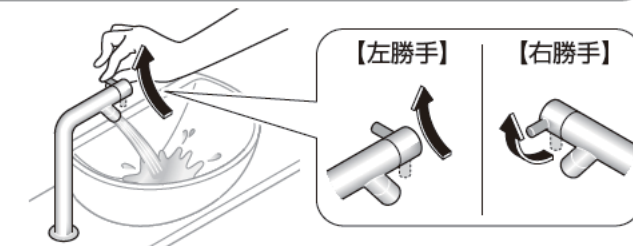


ベッセル丸形

自動水栓



ハンドル式水栓

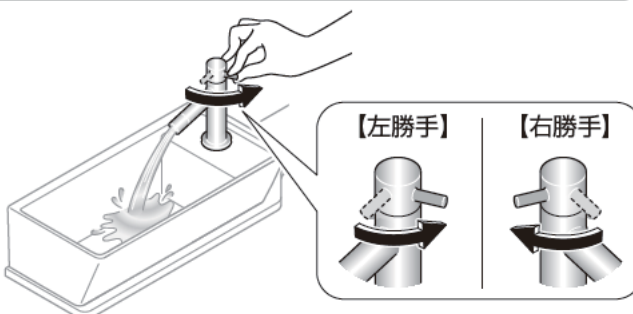


ベッセル角形

自動水栓

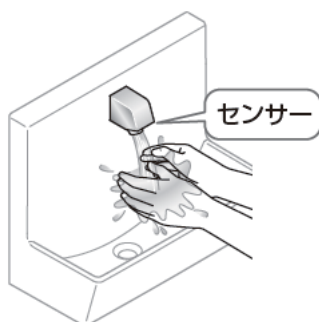


ハンドル式水栓

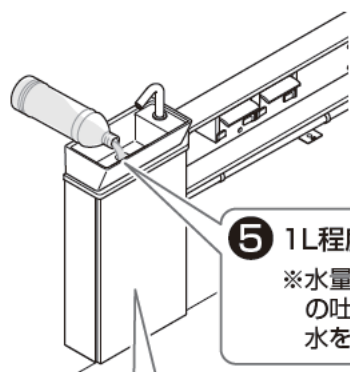
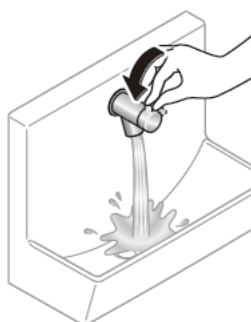


ハイバック

自動水栓

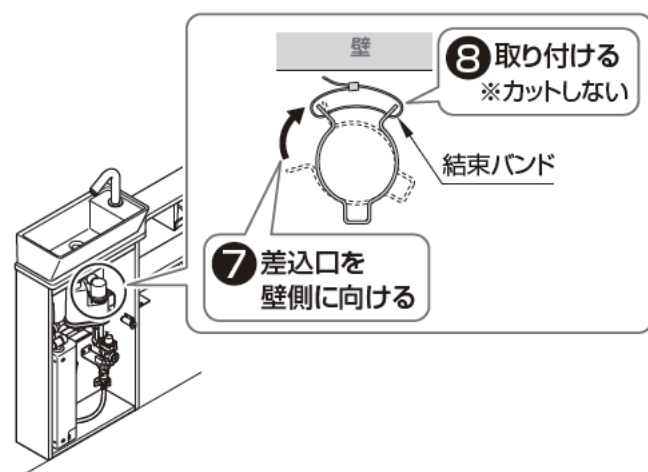


ハンドル式水栓



⑤ 1L程度水を流す

※水量が必要なため直前に手洗器の吐水確認をしても追加で水を流すこと



4 電気温水器の吐水確認

① 電気温水器を試運転し、吐水確認を行う

参照 電気温水器の施工説明書

5 ウォシュレットの吐水確認

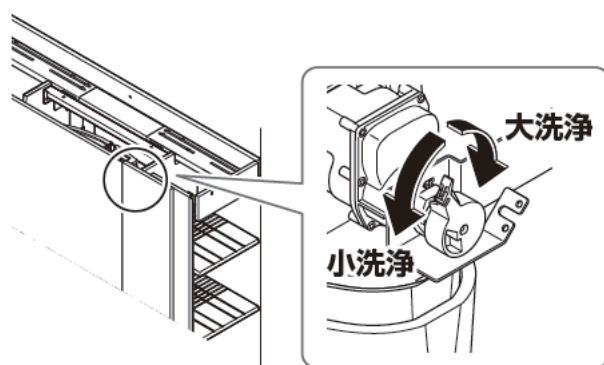
① ウォシュレットを試運転し、吐水確認を行う

参照 ウォシュレットの施工説明書

※試運転の前および試運転完了時は、必ず電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。(ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)

6 便器洗浄の確認

洗浄レバー



① 作動確認

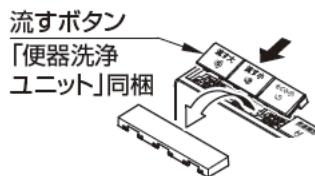
コアキャビネット内の洗浄レバーを操作する

- ☐ 大・小洗浄とも正常に行われるか
- ☐ スムーズに回転するか

リモコン

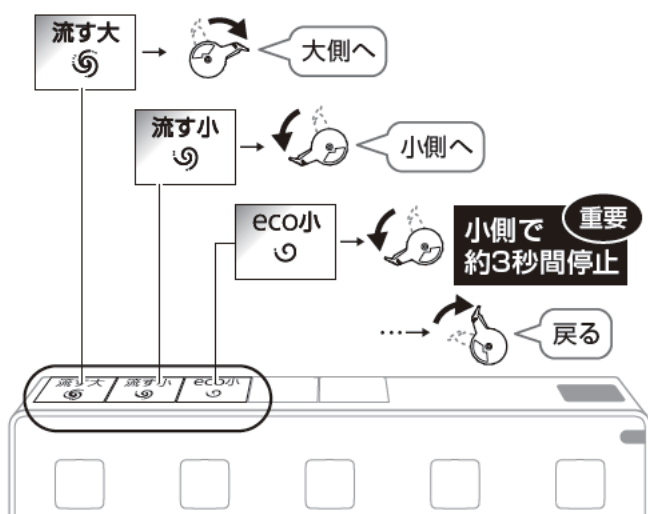
① 流すボタンが取り付けられているか確認する

参照 流すボタン取付説明書



② 作動確認

- 「大」・「小」・「eco小」のボタンを押して、それぞれの洗浄が正常に行われるか
- ※連続して押すと作動しません。
- ※約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



※機種によってデザインなどが異なります。

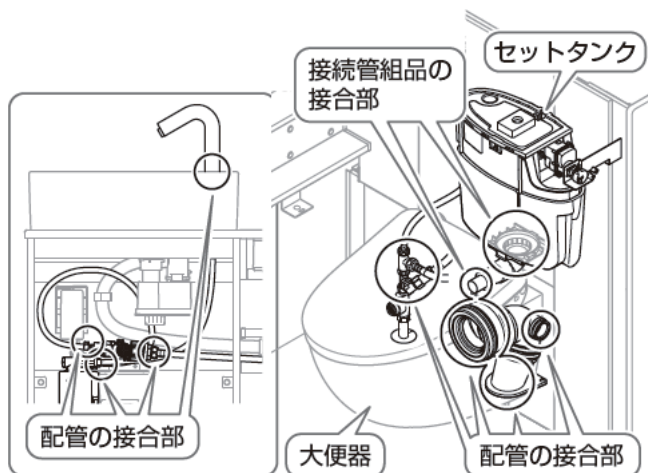
③ 試運転完了後、「運転入/切」が、「入」になっていることを確認する(「運転ランプ」点灯)

- 「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んで、ウォシュレットは作動しません。
- ※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」を切らないでください。

7 大便器・配管類の水漏れ確認

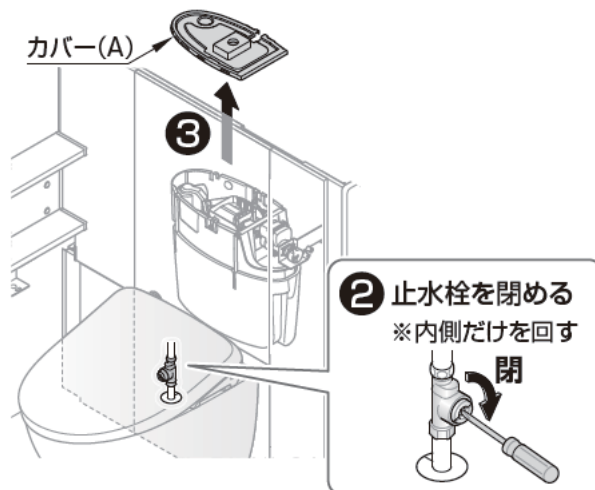
① 作動確認

- 2～3度洗浄させて、水漏れなどがないことを確認する
- 給水ホースの接続箇所は正しいか
- 配管接合部からの水漏れがないか
- 大便器・セットタンクからの水漏れがないか



大便器に水が流れ続ける場合の対応方法

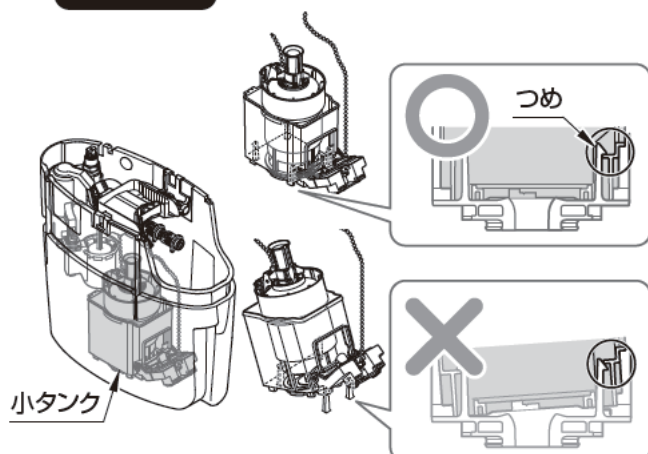
※セットタンクに強い力や衝撃を与えると、つめが小タンクから外れて水が流れ続ける場合があります。



4 小タンクを上から押さえはめ直す

※四隅をつめ 4カ所に「カチッ」と音がするまで確実にはめ込む

止水不良防止



8 水位の確認

必ず実施してください

正常な状態

設定変更不要です。



設定を行うと、洗浄不良になる場合があります。

水たまり面が低い

設定変更してください。

▶P.115

「水たまり面が低い場合の
対応方法」



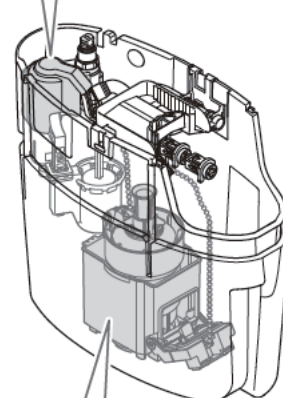
汚物付着の原因になります。
〈水たまり面 低下の理由〉
・排水管に曲がりが多い
・通気が不十分

※水たまり面の判断に迷ったとき

ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が
上昇しない場合は正常です。

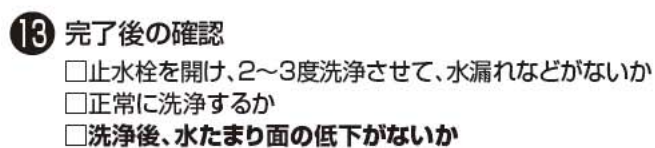
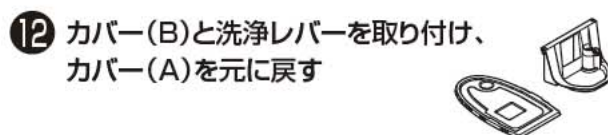
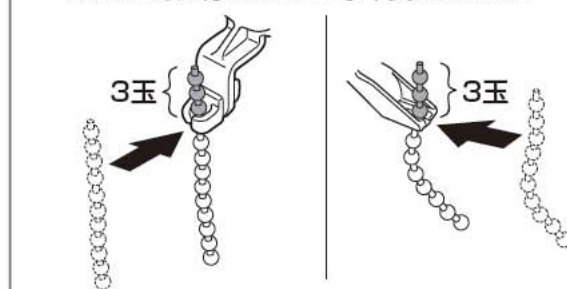
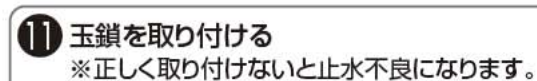
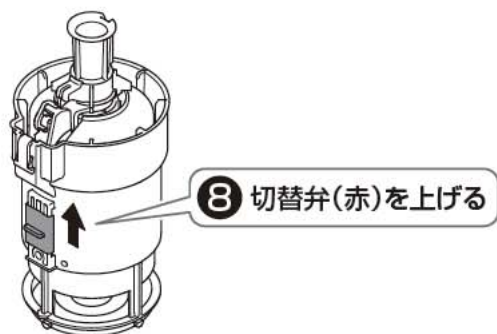
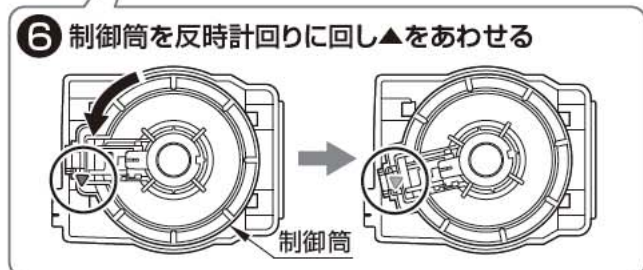
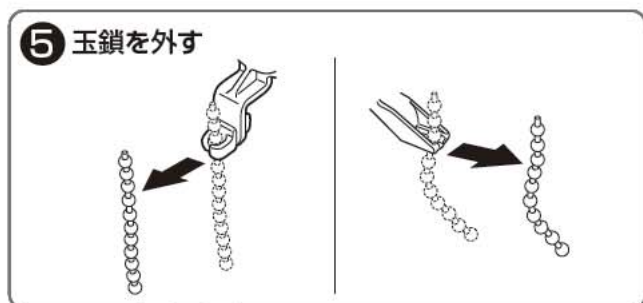
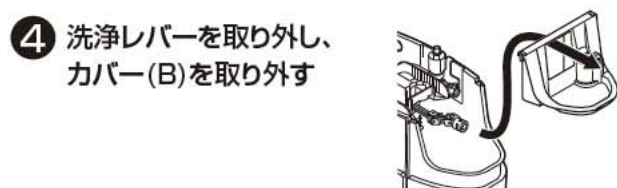
タンク内を調整する際のご注意

漏水防止カバーを
外さない



小タンクに力を加えない
排水弁が浮いて、水が流れっぱなし
になるおそれがあります。

水たまり面が低い場合の対応方法



自治体によって洗浄水量の規制がある場合

【変更前】

大洗浄	4.8L
小洗浄	3.6L
eco小洗浄	3.4L

大洗浄	6L
小洗浄	4.8L
eco小洗浄	4.6L

大洗浄	8L
小洗浄	7.5L
eco小洗浄	7L

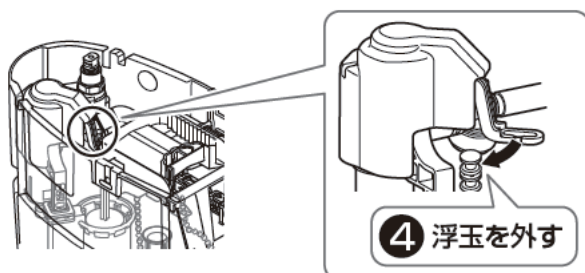
変更
できます。

大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L仕様への切替方法

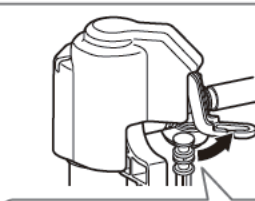
①～③

▶P.115 水たまり面が低い場合の対応方法 の

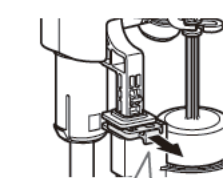
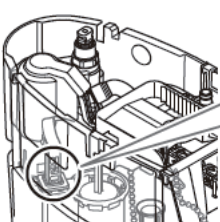
①～③を実施



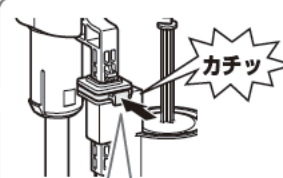
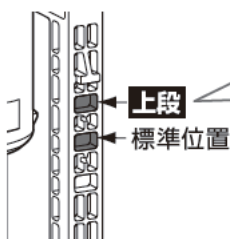
④ 浮玉を外す



⑤ 下段の凹部を取り付ける
※位置を間違えると給水しない、もしくは給水が止まらなことがあります。



⑥ フックを解除する



⑦ 上段にフックを差し込む

※位置を間違えると給水しない、もしくは給水が止まらなことがあります。

⑧ カバー(A)を元に戻す



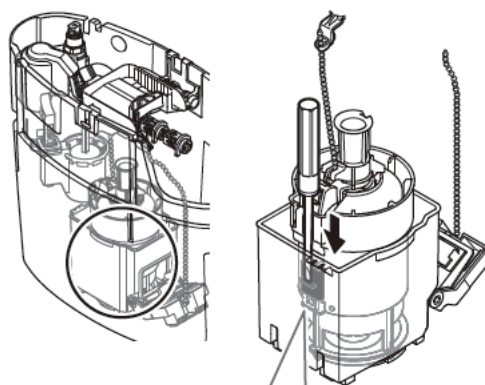
⑨ 完了後の確認

- ☐ 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

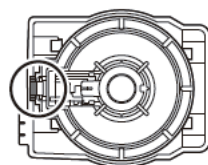
大洗浄8L、小洗浄7.5L、eco小洗浄7L仕様への切替方法

①～⑦

▶同ページ 大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L仕様への切替方法 の
①～⑦を実施



⑧ 先の長いマイナスドライバーを差し込み、切替弁を下げる



切替弁を下げられなかった場合

▶P.115 水たまり面が低い場合の対応方法 の

①～③を実施

⑨ カバー(B)と洗浄レバーを取り付け、カバー(A)を元に戻す



⑩ 完了後の確認

- ☐ 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

9 やわらかライトの設定

※ウォシュレット アプリコットのやわらかライトは入/切を選択できます。

① 止 と 水勢 +

リモコンランプが点灯・点滅するまで押す(約10秒)

確認

② おしり/ソフト

押す

③ ビデ/ワイド

押す

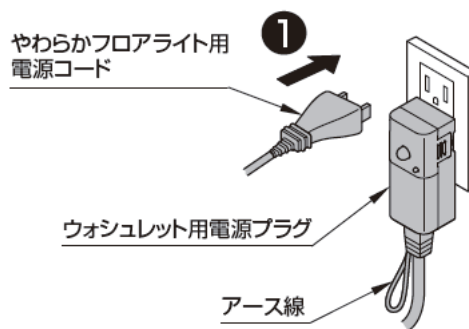
④ 設定したい項目を選んでボタンを押す

【「使う」とき】	【「使わない」とき】
水勢 +	水勢 -
ピッ	ピーッ

※ボタンのデザインは仕様により異なります。

10 やわらかフロアライトの作動確認

やわらかフロアライトなしの場合 11へ



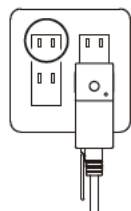
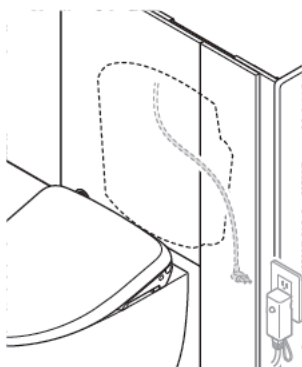
- ② 作動確認
- 大便器に近づいて行くことで、照明が点灯することを確認してください。(確認は、トイレの外に出てトイレのドアを閉め、100秒以上経過したあとに実施)
- 【点灯しないとき】
- コンセントを抜いて部材の接続を再度確認してください。
- ・照明(LED)の取り付け▶P.59
 - ・センサーの取り付け▶P.73

11 電源プラグの差し込み

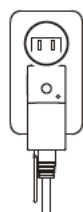
一般地/寒冷地流動方式の場合は12へ

① コンセントを差し込む

やわらかフロアライトありの場合



やわらかフロアライトなしの場合



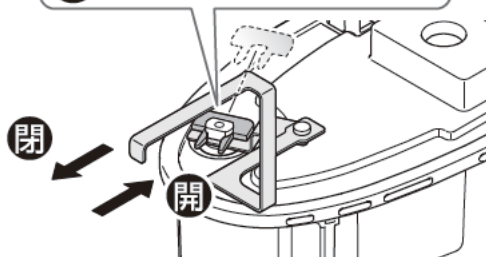
12 流動レバーの作動確認

一般地/寒冷地水抜方式の場合は13へ



① 上からピンに差し込む

② レバー止めでピンを挟み込む



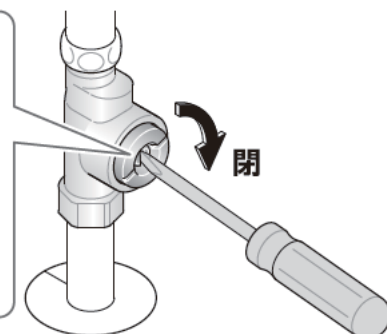
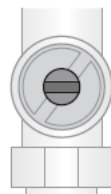
③ 作動確認

- ☐ 流動レバーを手前に回し、水が流れることを確認する。
- ☐ 作動確認後、流動レバーを奥壁側に回し、閉まることを確認する。
- ☐ 確認後、止水栓を閉める。

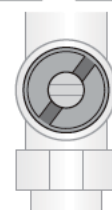
13 給水フィルター清掃

必ず実施してください

① 止水栓を閉める ※内側だけを回す



② ふたを開け、 給水フィルターを取り外す ※外側だけを回す

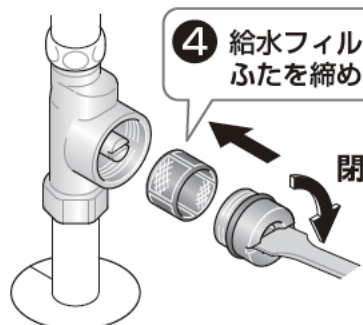


※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

③ 給水フィルターの清掃

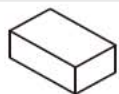


④ 給水フィルターを取り付け、 ふたを締め付ける



21. 天板

使用部材



詰め合わせ箱

天板開閉部材セット※まるごと収納タイプの場合

スライド丁番セット



スライド丁番
(2個)



皿タッピンねじ
3.5×14(4本)

ダンバーセット



ダンバー 本体
(1個)



ダンバー 座金
(1個)



トラス小ねじ
M4×8(5本)



トラス小ねじ
M4×5(1本)

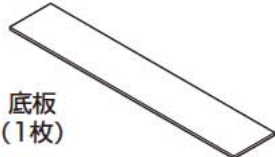


コアキャビネット

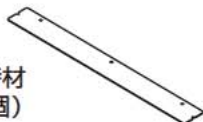
コアキャビネット

【まるごと収納タイプの場合】

底板セット



底板
(1枚)



支持材
(1個)



キャップ
(1個)



トラスタッピンねじ
4×10(5本)

天板セット

キャップセットL



キャップ(L)
(1個)



トラスタッピンねじ
4×8(2本)

支持材セット

【スリム収納タイプの場合】



支持材
(1個)



トラスタッピンねじ
4×8(2本)

キャップセットR



キャップ(R)
(1個)



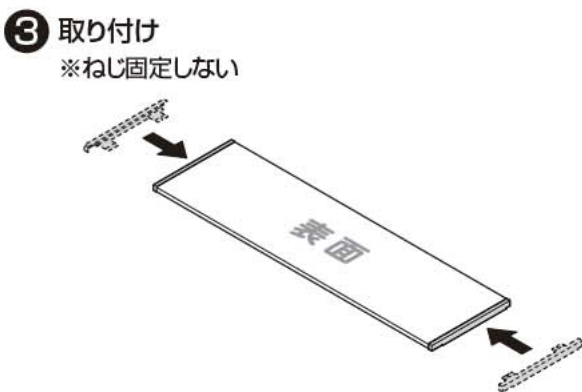
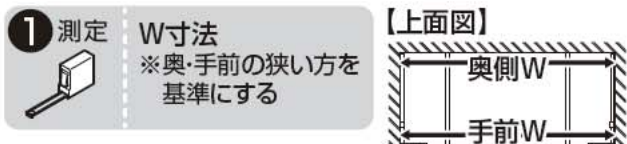
トラスタッピンねじ
4×8(2本)

MEMO

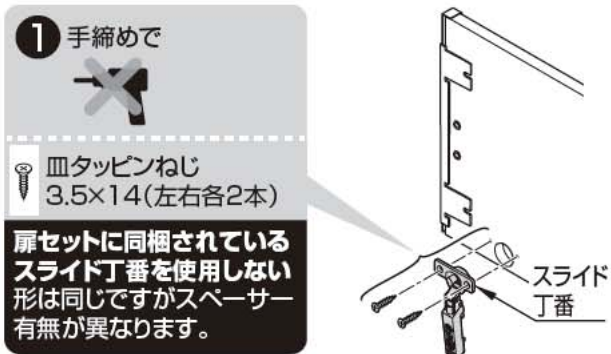
まるごと収納タイプの場合	▶P.120
スリム収納タイプの場合	▶P.122

まるごと収納タイプ

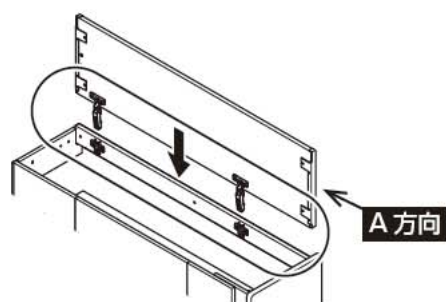
1 天板の加工



2 スライド丁番の取り付け

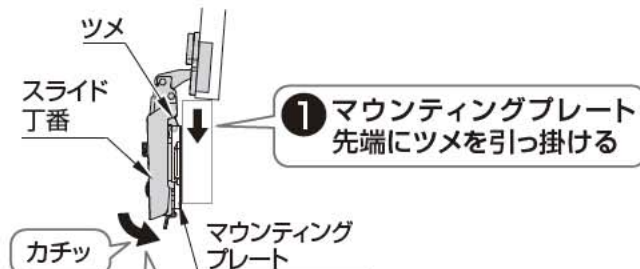


3 天板の取り付け



取り付けかた

【A方向から見た図】

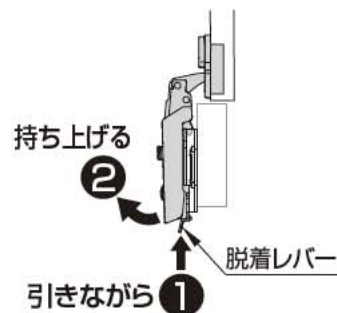


2 押し下げる

スライド丁番本体がきちんとマウンティングプレートに装着されているか確認する

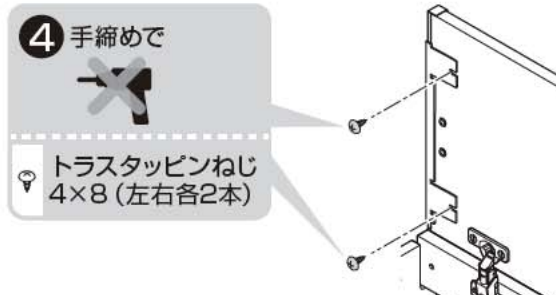
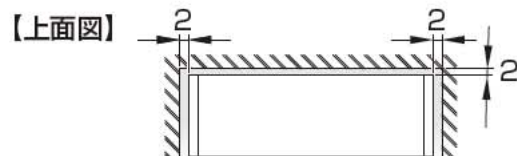
取り外しかた

【A方向から見た図】



3 すき間を調整する

天板の両端が壁をこすらないこと



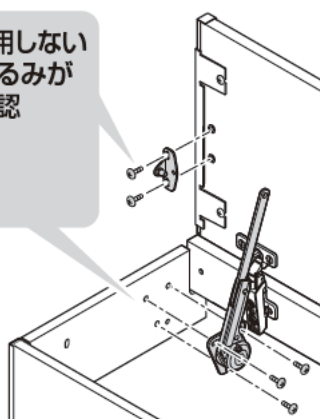
4 ダンパーの取り付け

1 手締めで



・丸穴は使用しない
・固定後ゆるみがないか確認

トラス小ねじ
M4×8 (5本)



2 手締めで



軸に穴をはめ込み固定
【軸に穴があわない場合】
②のねじをゆるめて
位置を調整する

トラス小ねじ
M4×5 (1本)

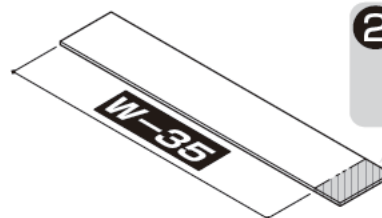


5 底板の加工

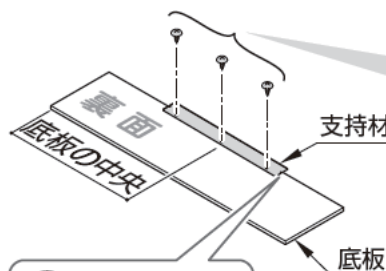
1 測定

W寸法
※奥・手前の狭い方を
基準にする

【上面図】



2 けがき → カット

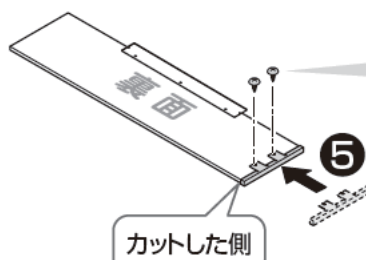


4 手締めで



トラスタッピンねじ
4×10 (3本)

3 底板前端にあわせる

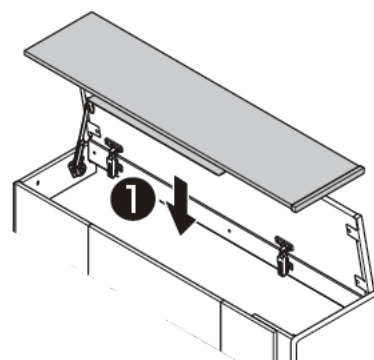


6 手締めで



トラスタッピンねじ
4×10 (2本)

6 底板の取り付け



P.123 22.仕上げへ

スリム収納タイプ

1 天板の加工

1 測定

W寸法
※奥・手前の狭い方を
基準にする

【上面図】



2 けがき → カット



チッピングに注意すること



のこぎりの場合は
表面からカット



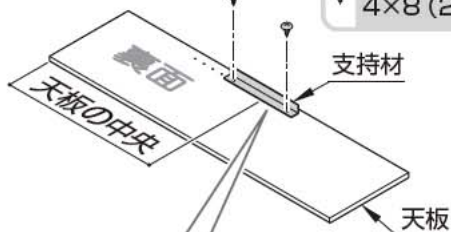
丸のこの場合は
裏面からカット

2 天板の組み立て

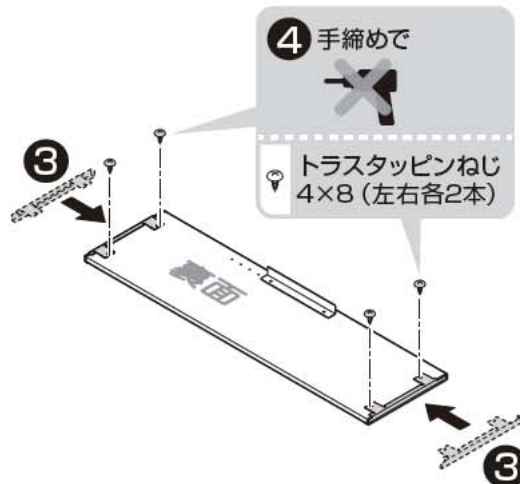
2 手締めで



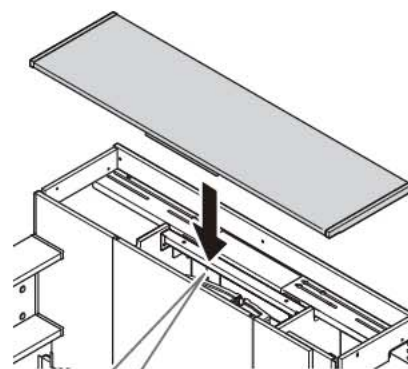
トラスタッピンねじ
4×8 (2本)



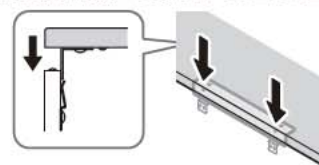
1 中心をあわせ近い位置の下穴にあわせる



3 天板の取り付け



1 前板組品に支持材を差し込む



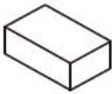
2 すき間を調整する

【正面図】



22. 仕上げ

使用部材

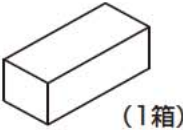


詰め合わせ箱

施工説明書

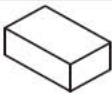
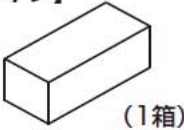


ハンドグリップ



タオル掛け

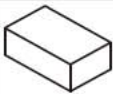
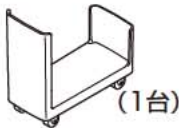
【壁取付タイプ】



コアキャビネット

コアキャビネット

引き出しラック



詰め合わせ箱 (手洗器キャビネット用)

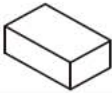
タオル掛け

【手洗器下取付タイプ】



紙巻器

【メタル製】



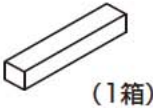
その他包装

カウンター

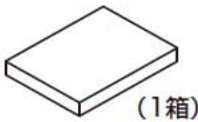
付属材セット



木製手すり



化粧鏡



MEMO

1 手洗器キャビネット扉の調整

【扉を開けた時、壁などに当たる場合】

クッション材



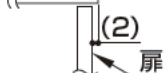
① クッション材をはり付ける
「施工説明書」同梱

※はり付け面を水ぶきし、乾燥後はり付けてください。
※お使いにならない場合は、取扱説明書と一緒に
お客様に渡してください。

② 扉を調整する

【側面図】

上段カウンター



(2)

上段カウンターと
扉上部のすき間

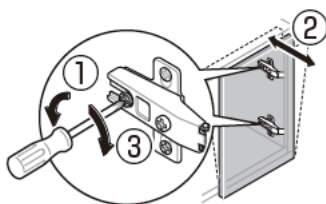
(2)



前後を調整 (右開き)

- ① ゆるめる
- ② 扉を動かす
- ③ 締める

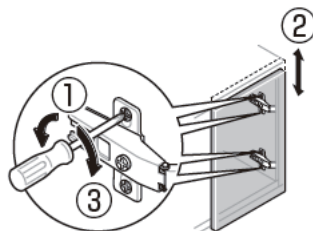
※左開きも同様です。



上下を調整 (右開き)

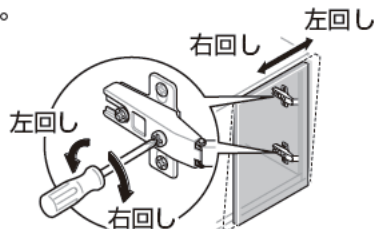
- ① ゆるめる (左回し)
- ② 扉を動かす
- ③ 締める (右回し)

※左開きも同様です。



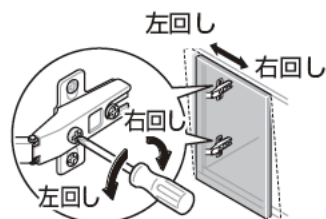
左右を調整 (右開き)

ねじを回すと、扉が動く。



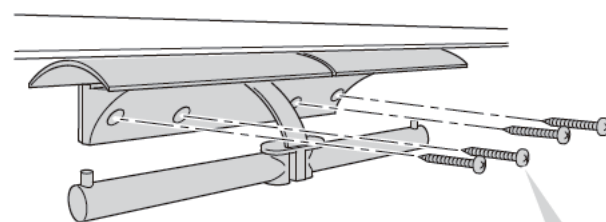
左右を調整 (左開き)

ねじを回すと、扉が動く。



2 メタル製紙巻器 の取り付け

樹脂製紙巻器の
場合は③へ

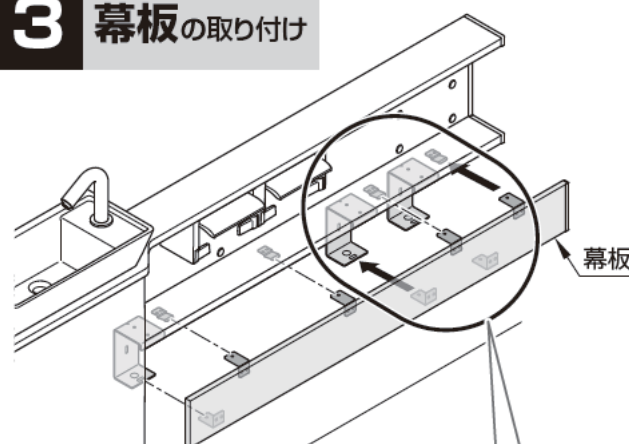


① けがき → 下穴



なべタッピンねじ
4×40 (4本)

3 幕板の取り付け



取付材

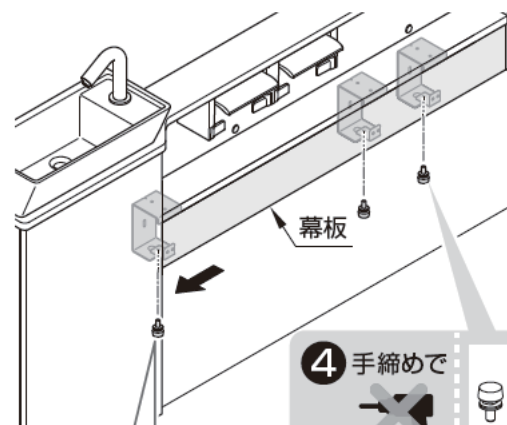
② 差し込む

アングル

① 上に載せる

アングル

ブラケット



④ 手締めで



座金組込
化粧ねじ
4×12 (3本)

③ 手洗器キャビネット
に押し当て

4 リモコン

- ① リモコンの取り付け **参照** ウォシュレット施工説明書
- ② リモコンの設定・作動確認 ▶P.71 **6** へ

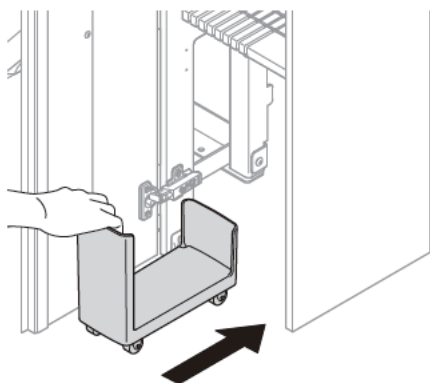
5 器具類の取り付け

【タオル掛け、化粧鏡、木製手すり、ハンドグリップを選択している場合】

参照 各商品に同封されている施工説明書

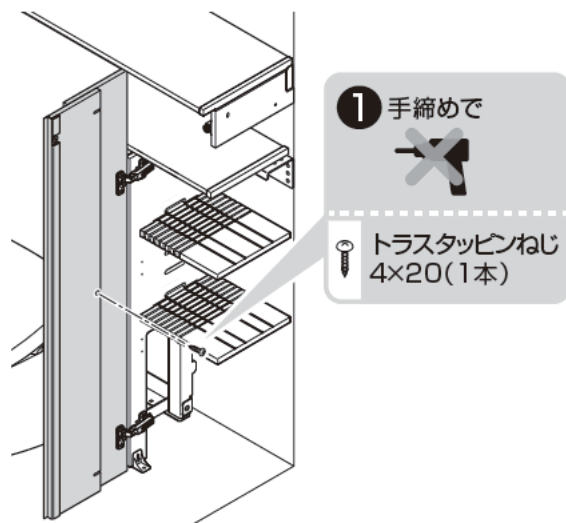
6 引き出しラック

大便器キャビネットの中に収納する

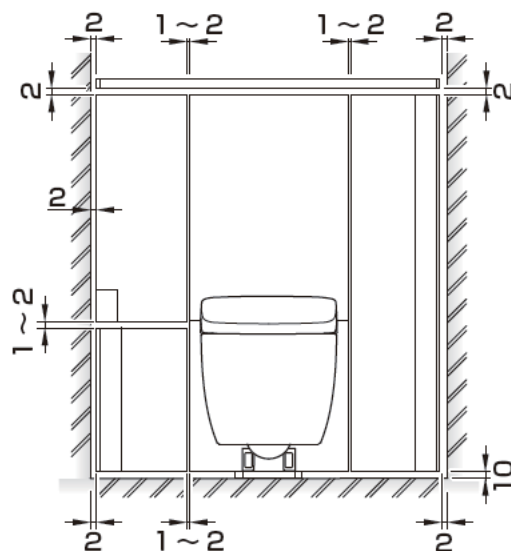


7 扉の本固定

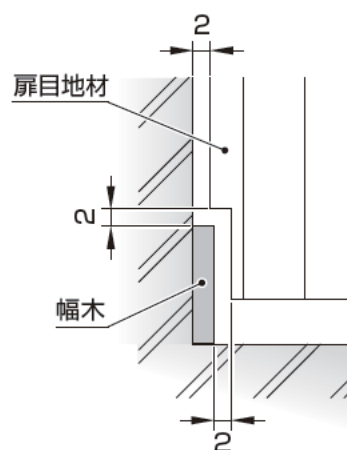
扉の調整後(次ページ参照)本固定



仕上げ状態(目安)

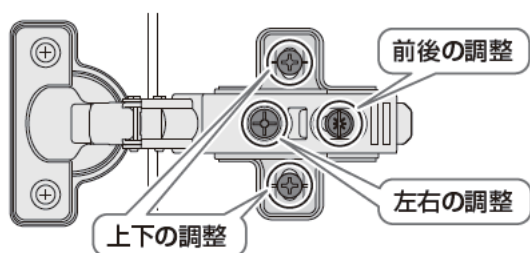


幅木がある場合のみ対応

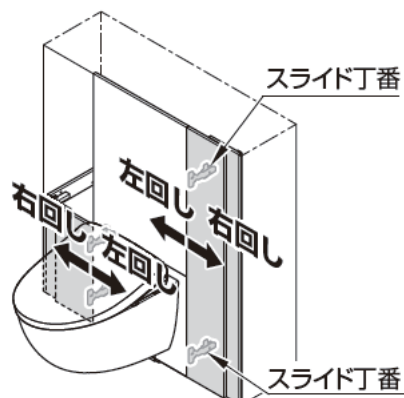


扉の調整

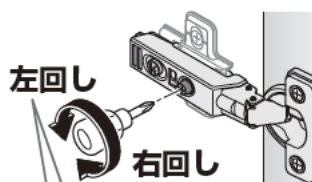
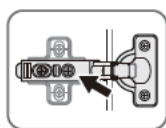
各ねじを調整することで扉を調整できます



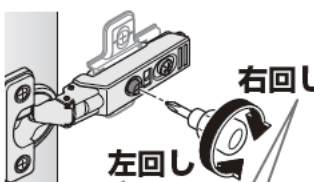
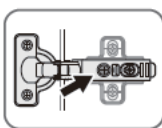
左右方向



【左扉】



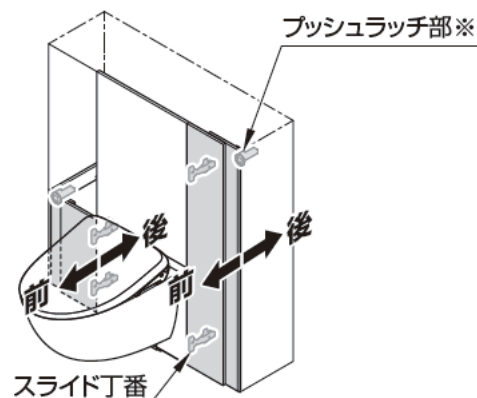
【右扉】



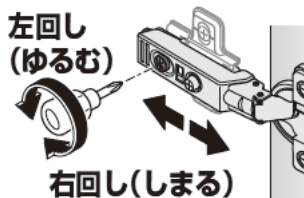
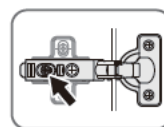
2 前後・上下方向の調整

ねじをゆるめ、扉を持って各方向にずらして位置を調整し、ねじをしめて固定してください。

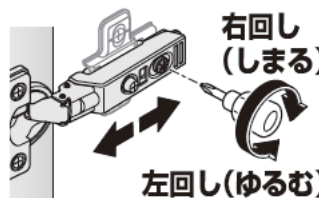
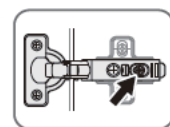
前後方向



【左扉】



【右扉】

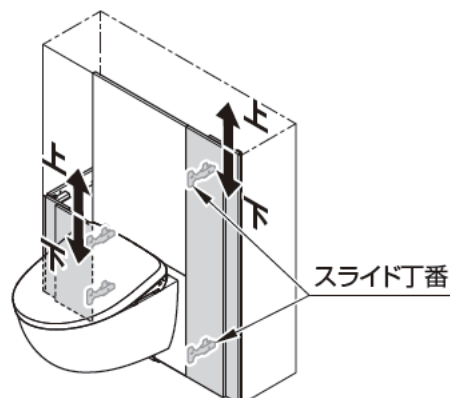


※プッシュラッチ部も前後調整できます。

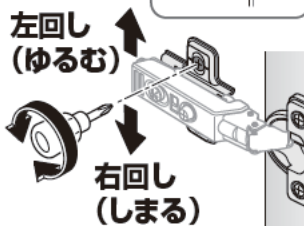
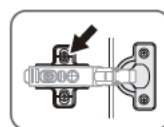


上下方向

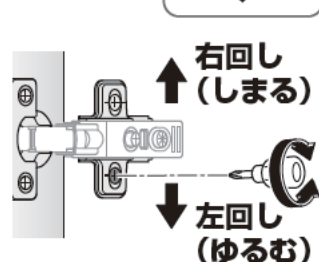
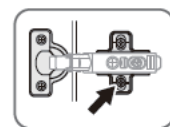
扉の上下調整は上下2つのスライド丁番の移動方向にあわせること



【左扉】



【右扉】



※扉の向きによって調整ねじ位置が変わります。

8 天板の調整

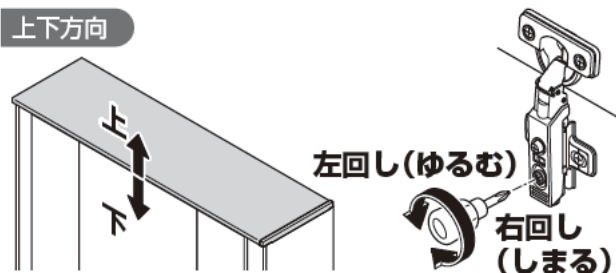
扉の調整

前後方向

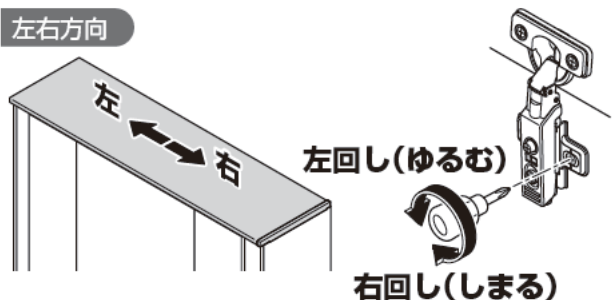


上下・左右はねじをゆるめ、天板を持って各方向にずらして位置を調整し、ねじをしめて固定してください。

上下方向



左右方向



閉まり速度の調整

⚠ 注意



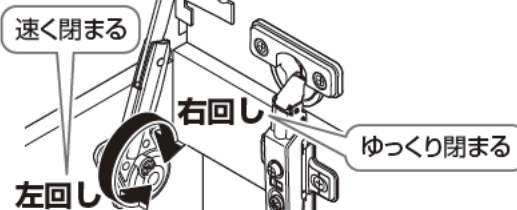
禁止

調整時に弱めすぎない
天板が速く閉まり、けがの原因となります。

分解、改造をしない
器具が破損し、けがの原因となります。

- ① ゆるみがある場合、増し締めしてしっかり固定する
※速度調節部は、限度以上に回さないでください。
※温度によりダンパーの作用速度が変わることがありますが、故障ではありません。

速く閉まる



9 クッション材のはり付け

【天板・便ふたを開けた時、壁などに当たる場合】

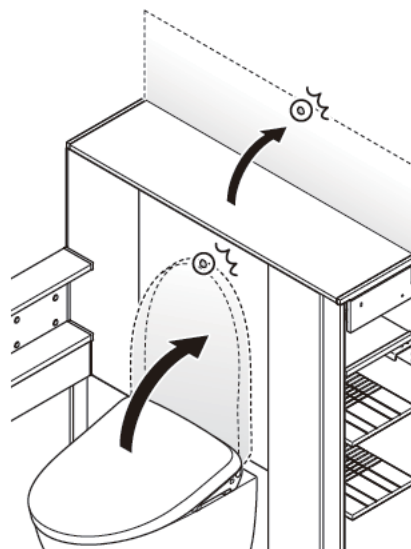
クッション材



- ① クッション材をはり付ける
「施工説明書」
「ウォシュレット」同梱

	天板	便ふた
まるごと収納タイプ	○	○
スリム収納タイプ	—	○

※はり付け面を水ぶきし、乾燥後はり付けてください。
※お使いにならない場合は、取扱説明書と一緒に
お客様に渡してください。



10 シリコン系シール材の塗布

警告



必ず守る

シリコン系シール材の塗布(コーキング)は確実に
水などがキャビネット内に浸入してコンセント
にかかり、火災や感電の原因となります。

※ジョイントコークなどの水溶性のコーキングは使用しないで
ください。

※防カビ性の透明シリコン系シール材(別途手配)

ベッセルタイプ(丸形)

1 シリコン系 シール材



バックパネルありの場合



手洗器の背面と
底面の全周



ベッセルタイプ(角形)

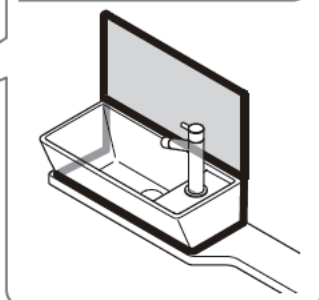
1 シリコン系 シール材



バックパネルありの場合



手洗器の背面と
底面の全周

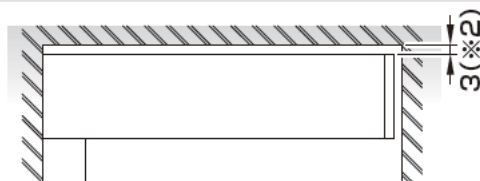


ハイバックタイプ

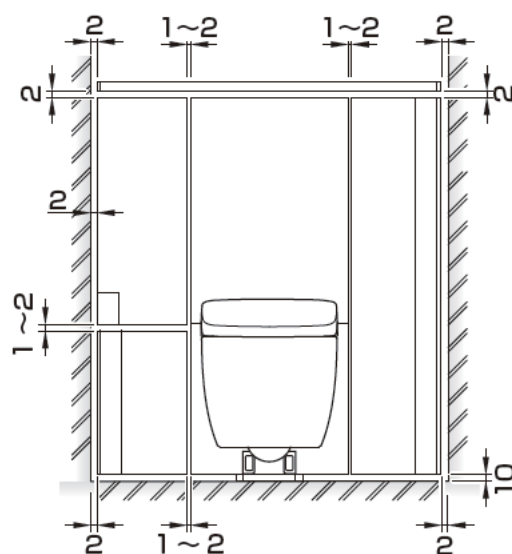
※手洗器・キャビネット周辺のシリコン系シール材は不要です。

11 仕上げ状態の確認

仕上げ状態 (目安)



※まるごと収納タイプの場合

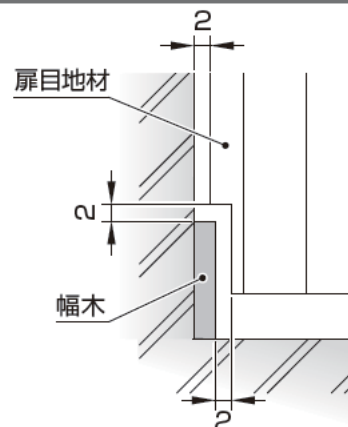


天板と側板組品が当たり2mmにならない場合



ねじをゆるめて
押し下げる

幅木がある場合のみ対応



MEMO

MEMO

MEMO

